

話だったと思うが、その5億円ずつはどこに充当する予定なのか。

②常総市の展望づくりについて、一体感の構築はどうなのか。

**再答弁（企画部長）**

①支援金ではなく支援事業であり、歳入していないため答弁できない。

②東西の連携を図りつつ一体感を図るため、きぬがわふれあい道路は重要と認識している。

質問

茨城県森林湖沼環境税について

岡野 一男議員

**再々質問**

常総市の一体感の構築に



平成20年度に導入された森林湖沼環境税は、24年度末で課税期限を迎える。本県では3月にアンケート調査を行い、個人、法人ともに税の継続に対し、賛成、どちらかといえば賛成が8割を超えている。森林、湖沼、河川は県土の保全、水源として県民生活、産業を支えている。最近、管理放置の山林が増加し、湖沼、河川の水質は悪化している。そのため、自然環境の保全を行うっていくものである。

**再々答弁（副市長）**

ついでの考えは、随時議会に相談しながら、合併特例債を十分活用して、常総市という新しい市の一体感に向けて構築をしていきたい。

常総市では個人の納税義務者だけで3万1021人、3102万1000円となり、法人も合わせると額はもっと上がる。

①常総市はこの税の恩恵を受けているのか。年度別に事業内容と額、その効果について何う。

②この税の継続について、市としてはどのように考えているのか。

③地球温暖化防止のため、ひとつの例として竹食器の導入を提案したいがどうか。

**答弁（産業労働部長）**

①税を活用し、合併処理浄化槽へ転換する際の単独処理浄化槽の撤去費用の補助金を交付している。また、市内の平地林等の森林整備を行っている。

②県では、要望等を踏まえ検討中であると聞いています。継続されたら有効に活用していきたい。

③詳細について不明な点が多く、今後の研究課題とさせていただきます。

**再質問**

①市として継続してほしいという意思表示をすべきであると思うがどうか。

②竹食器について、環境に優しく、子供たちに良いのであれば積極的に進めてもらいたいがどうか。

**再答弁（産業労働部長）**

①市議会議長会等から要望、意見が出ており、市としても同じ考えである。

②単価や特許等の問題もあるため、研究課題とさせ

常総市農業委員の資格要件について

山本 幹男議員

**質問**

農業委員会は月1回実態調査をしている。内容は、所有権移転、賃借権等重要なものである。これを、資格のないものが審査するということはいかがなものか。委員の資格要件には1反以上の農地を所有し、実際に耕作していることが条件の



環境に優しい竹食器

ていただきたい。

**再々質問**

①学校給食の食器の交換時期は。

②継続について、市としても早急に意思表示をすべきと感じるがどうか。

**再々答弁（教育部長）**

①何年間隔で交換しているのではなく、劣化、破損等により交換している。

**再々答弁（産業労働部長）**

②今後の動向を見ながら対応していきたい。

一つになっている。ただし、委員会では認められたものに関しては会長の許可で就任することができるとある。市の委員会では26名中、3名くらはいは資格のない方がいると聞いている。今後、どのような対応を考えているか何う。

**答弁（農業委員会会長）**

手続き的にはすべて資格要件を満たしており、現在の農業委員には未資格者はいないと認識している。

**答弁（農業委員会事務局長）**

農業委員の資格要件には①区域内に住所を有す。②満20歳以上。③10a以上の農地につき耕作の業務を営む者。の3条件がある。これを満たした上で、毎年1回の総会において各地区の委員に、選挙人名簿搭載申請書の確認をお願いしている。ご指摘の件に関しては、総会の中で議論していきたい。

